

学校別傾向と対策～共立女子中学校～

算数

出題傾向

文章問題では、速さの問題に偏りがみられ、図形問題では、角度、図形の移動、水量、回転体などに偏りが見られます。それ以外にも、数列の出題なども非常に多く単元による対策はとてもし易いです。難易度も決して高いものではありませんが、45分間で大問7、8題の構成となっているため時間制限が厳しい試験になります。

合格への対策

対策としては、上記の単元を重点的に演習しておくことが大切になります。しかし、最も重要なことは、時間とのたたかいになるということです。普段から、時間を意識した学習をすることが最も大切なこととなります。また、C 日程では傾向の変化が見られています。算数でも記述問題の出題がされています。お題に沿った問題を作成する問題や十進数についての説明文に穴埋めをする問題など特殊な問題で構成されています。今後、傾向が変わる可能性のある学校にはなりますので、説明会などの情報を取り入れ、傾向が変わることを見据えた対策も必要になるでしょう。

国語

出題傾向

大問は計5題です。それぞれ、漢字の読み書き、知識、読解問題が3題です。読解問題は文章自体は短く、それぞれ7問程度の設問が出題され、ほとんどが選択肢問題です。試験時間は45分と若干短いですが、記述など作業時間がかかる設問はないため、取り立てて問題視することはありません。

合格への対策

合格者平均は約7割でかつ受験者平均との差はあまりありません。つまり、難易度としては高くないということです。選択肢も紛らわしいということはなく、正解がはっきりとわかる作りになっているものがほとんどです。そう思えるレベルでない場合、絶対的な演習量が足りていません。中にはこういう文章テーマなら正解はこれだろうという思考で解かなければならないものもあります。そういう感覚を育てるのは経験のみです。平易なものを毎日1題解くというようにまずは量を確保するのがポイントです。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西1-39-1 伊藤ビル3階

TEL 03-5924-7747



学校別傾向と対策～〇〇中学校～

理科

出題傾向

35分間で75点満点の試験になっています。算国100点満点に対する75点満点ですので、他の中学校の試験と比較すると理社での比重は高めになります。大問数は年により異なりますが、物理、化学分野が若干、多めに出题される傾向があります。出題内容は、知識の出题もありますが、物理、化学分野の計算問題が目立ちます。問題数が多い上での計算問題の出题ですので、時間の制限は意識しなければなりません。

合格への対策

最も対策すべき分野は、物理、化学分野を中心とした計算問題になります。物理分野では、ものの運動、力学、ふり子などが出题されます。化学分野では、気体の発生、ものの解け方などが出题されます。それ以外にも、フェーン現象の計算問題、植物の蒸散量の計算問題など多岐にわたります。しかし、これらの出題は、中学入試で学習する一般的な内容にはなりません。計算問題を幅広く演習をすることでしっかり対策ができます。また、その演習の中で、時間をしっかり意識するようにしましょう。

社会

出題傾向

大問は5題で、地理、歴史、公民、時事問題と幅広く出題されます。設問形式は選択肢が中心ですが、書かせるものや記述も出題されています。問われていること自体は基礎的なものが多いですが、正誤問題の比率が比較的多く、正解な理解と記憶に裏打ちされた実力がなければ、難しいと感じるでしょう。

合格への対策

記述問題は知識応用型で思考力が必要なものですが、こういうものに目を奪われるのは得策ではありません。まずは、基礎的な事項を理解し正確に記憶することが大切です。さらに、出題は幅広いので、偏りなく学習することが重要です。つまり、まずは「当たり前のことを当たり前にする」ということです。思考は正確な知識がないとできません。そういう学習を不安に思わずコツコツ継続することが鍵です。

理数特化型進学塾

進塾

東京都北区赤羽西1-39-1 伊藤ビル3階

TEL 03-5924-7747

